

JIS

UDC 003.054:681.327.12

X 9004

光学式文字認識のための印字仕様

JIS X 9004—1983

(1999 確認)

(2004 確認)

昭和58年1月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 50.2.1 改正：昭和 58.1.1 確認：平成 11.3.20

官 報 公 示：平成 11.3.23

原案作成協力者：社団法人 日本電子工業振興協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 和田 弘）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 情報電気標準化推進室（☎100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

光学式文字認識のための印字仕様

X 9004-1983

Printing Specifications for Optical Character Recognition

(1999 確認)

1. 適用範囲 この規格は、光学式文字認識（以下、OCR という。）に使用する字形の印字に関する次の仕様について規定する。ここで文字は、JIS X 9001 [光学式文字認識のための字形（英数字）]及び JIS X 9003 [光学式文字認識のための字形（片仮名）]の規定による。

- (1) 使用する用紙の光学的特性。
- (2) 印字した個々の OCR 文字の光学的及び寸法上の特性。
- (3) 帳票上に印字した OCR 文字の位置についての基本的仕様。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、次のとおりとする。

- (1) 帳票 OCR への入力媒体。
- (2) スペクトルバンド OCR に使用する用紙、インキ及び印字図形の光学的特性を規定するために設定した分光波長領域。近紫外から近赤外にわたる数種の区分がある。
- (3) 反射率 光学的に同じ状態に置いた被測定物と完全拡散反射体⁽¹⁾からの反射光量の比。
注⁽¹⁾ 測定では、白の標準と呼ぶ白色板を用いる。白の標準としては、硫酸バリウム (BaSO₄) などを用いる。
- (4) 汚点 用紙上で周囲より明らかに反射率の低い部分。
- (5) 裏当て法 反射率及び不透明度の測定時に使用する方法。
十分な裏当て法とは、測定しようとする試料と同質の用紙を裏当てしたとき、その用紙の枚数を2倍にしても測定値の変化が認められないように裏当てする方法をいい、黒の裏当て法とは、反射率が0.5%以下の黒色板を試料の裏当てとする方法をいう。
- (6) 印字図形 帳票上に印字した文字及びその周囲の余白部を含む図形。
- (7) 線素 個々の文字を構成する幅をもった線分。
- (8) 心線 標準字形の骨組みを表す線素の中心線。
- (9) レンジ 印字品質の許容限界の程度。X、Y及びZの3区分がある。
- (10) COL (Character Outline Limits) 標準線幅からのずれに対し、許容できる限界を示す輪郭線。最大限界を示す最大 COL と最小限界を示す最小 COL とがある。
- (11) COLゲージ 印字図形の寸法上の特性を測定するためのゲージ。最大 COL、最小 COL 及び心線字形が表示してある。
- (12) カットオフ 文字の片側で線素の一部が非対称に欠落した状態。高速印字装置などで起こりやすい。
- (13) カットオフ限界線 許容するカットオフの限界を示す境界線。レンジZ用の COL ゲージだけにある。
- (14) カットオフ中心線 カットオフ限界線と最小 COL の間に描く円の中心の軌跡がなす線分。カットオフを伴う印字図形の測定において心線に代えて用いる。
- (15) 最良一致 文字が最小 COL 内をできるだけ多く満たし、同時に最大 COL からのみ出しが最も少なくなるように合わせた COL ゲージと文字図形の相対位置。

引用規格：JIS X 9001-1976 光学式文字認識のための字形（英数字）

JIS X 9003-1980 光学式文字認識のための字形（片仮名）

対応国際規格：ISO 1831-1980 Printing Specifications for Optical Character Recognition